



耳原総合病院手術部では常日頃から「安心・安全」をモットーに日々手術を行っています。お気軽にご紹介ください。

10月の手術件数をご紹介します。

- 全身麻酔 63件
- その他麻酔(腰麻・局麻・その他) 53件

診療科	麻酔	術式	件数
外科	全身麻酔	肝切除術	2
		乳腺悪性腫瘍手術	6
		胃切除術(内、腹腔鏡下1件)	2
		結腸切除術(内、腹腔鏡下1件)	2
		直腸切除術(内、腹腔鏡下1件)	2
		胆嚢摘出術	1
		腹腔鏡下胆嚢摘出術(内、単孔式1件)	5
		腹腔鏡下虫垂切除術	2
		人工肛門造設術	1
		硬膜外ブロック	1
その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	6	
	痔瘻根治手術	1	
呼吸器外科	全身麻酔	胸腔鏡下肺切除術	4
		開胸胸膜肺全摘術	1
		その他	2
心臓血管外科	全身麻酔	冠動脈、大動脈バイパス移植術	2
		左室形成術	1
		内シャント設置術	2
	その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	内シャント血栓除去術	1
その他	3		
泌尿器科	全身麻酔	腎(尿管)悪性腫瘍手術	3
		膀胱全摘手術	1
		経尿道的尿管ステント留置術	1
	その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	外尿道腫瘍切除術	1
		経尿道的電気凝固術	1
		経尿道的尿管ステント留置術	5
		経尿道的膀胱悪性腫瘍手術	1
		包茎手術	1
		前立腺生検	9
		その他	3

診療科	麻酔	術式	件数
整形外科	全身麻酔	骨折観血的手術	3
		人工関節置換術	1
		椎間板摘出術	1
		椎弓切除術	1
		その他	1
	その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	骨折観血的手術	1
		骨内異物(挿入物)除去術	2
		人工骨頭挿入術	2
		腱鞘切開術	4
		その他	4
産婦人科	全身麻酔	子宮全摘術(内、腹腔鏡下2件)	6
		付属器摘出術(内、腹腔鏡下3件)	4
		腹腔鏡下子宮外妊娠手術	1
		子宮筋腫摘出術	1
	その他麻酔(腰麻・局麻・その他)	子宮頸管縫縮術2(シロッカー法又はラッシュ法)	1
内科	全身麻酔	子宮頸部切除術	2
		帝王切開術(内、緊急2件)	5
		内視鏡的早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	3



診療科案内

心臓血管外科

心臓血管外科 再開後の経過・現状

寒さ厳しき折、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。開業医の先生がたには耳原総合病院をいつもおひきただきありがとうございます。心臓血管外科は大田豊隆先生が開設し当院にその基盤を築かれ、一昨年微力ながら再開させていただいています。循環器内科、麻酔科、手術室、ICU、病棟、リハビリのスタッフの協力のもとにまた、院内のたくさんの医師、医療スタッフのささえもあり平成20年の11月から開心術をはじめることができました。昨年は、開心術36例を含む心臓血管外科手術を50例おこなうことができました。また、腎臓内科との協力のもと透析導入における動静脈シャント手術もおこなっております。

近年、生活習慣病の増加に伴い狭心症、心筋梗塞が増加しています。当院の循環器内科は薬剤溶出ステント(DES)を含む冠動脈インターベンションを数多くしておりその成績も開業医の先生がたに満足いただけるものと存じます。当科における冠動脈バイパス術は、冠動脈インターベンションの数に比較して、その成績は及びませんが相補的な役割を担っており今後も努力していきたいと思っております。

弁膜症手術で僧帽弁手術は昨年、自己弁を温存する弁形成術が主流となっており当科でも積極的にとりこんでいます。人工弁置換術後に比べワーファリンの服用をしなくてすむこともあり患者様の内服におけるストレスも軽減すると思っております。大動脈弁手術は、人工弁置換術が主流ですが近年の生体弁はその耐久性、抗血栓性にもすぐれています。80歳前後の高齢の患者様でも、大動脈弁置換術後に負担なく生活できると考えられます。

大動脈瘤手術は、数は少ないのですが当院では開胸、あるいは開腹下で動脈瘤手術を行っています。現在、血管外科の領域ではステントグラフト時代にパラダイムシフトを迎えておりその低侵襲、患者様への負担、とくに80歳以上の高齢のかたには有益な治療法です。当院では、動脈瘤診断に有効な3DCTも行うことが可能であり診断後、ステントグラフト治療の専門医、専門病院への紹介も行ってあります。高



心臓血管外科 井上剛裕
いのう え たけ ひろ

齢の患者様の動脈瘤で今後どのように診ていけばいいのかわかりにくい際には相談していただければと思います。

末梢血管手術は、おもに閉塞性動脈硬化症の下肢バイパス術を行っています。患者様への低侵襲、負担軽減では最初にアプローチする治療として経皮的血管形成術(PTA)が有効であり当院でも、循環器内科を中心に行っております(当科も協力しています)。心臓血管外科外来も、閉塞性動脈硬化症の診断、PTA治療の窓口になりますのでご相談していただきたいと思います。

下肢静脈瘤は通常、進行もゆるやかであり体調によって症状が軽減・増悪したりします。しかしながら、悪化すると難治性の皮膚炎・潰瘍形成を引き起こします。簡便な対応は医療用のストッキングを着用すれば進行がゆるやかになり怖がることのない病気です。最近では外科的治療は専門性を要し当科ではおこなうことができません。診断、専門医への紹介はおこなっておりますので患者様で受診のご希望がありましたらご相談ください。

心臓血管外科治療は、生活習慣病における治療のわずかな部分を担っているのにすぎません。内科、循環器内科との連携をくみ堺市での循環器疾患治療に協働していけるよう努力していきたいと思っております。

平成21年度 心臓血管外科手術

開心術	36例
冠動脈バイパス術	17例
弁膜症手術	17例
胸部大動脈瘤手術	2例
腹部大動脈瘤手術	7例
末梢血管手術	7例
総計	50例